

産業廃棄物処理計画書

2023年5月12日

都道府県知事  
(市長)

殿

提出者 福岡県那珂川市  
大字上梶原1008-98  
住所 株式会社エフ・エム・シー  
氏名 代表取締役 藤田以和彦  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 TEL092-951-3232 FAX092-951-3233

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 エフ・エム・シー
事業場の所在地	〒811-1223 福岡県那珂川市大字上梶原1008番地98
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生コンクリート製造販売
②事業の規模	製造品出荷額
③従業員数	30人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生場所→処分業者委託→路盤材等に再生



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	排出量	2783.8m <sup>3</sup>
	(これまでに実施した取組) 持ち帰り生コンの減量並びに現場での利用をお願いする。	
②計画	【目標】前年度80%減量を目標にする	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	排出量	2220m <sup>3</sup>
	(今後実施する予定の取組) 同上 産業廃棄物処理費用の請求を検討 回収骨材として、生コンとして出荷	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	全処理委託量	2783.8m <sup>3</sup>
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	2783.8m <sup>3</sup>
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)  購入者から発注に対して残りコンクリートの減量をお願いする。	

(第5面)

②計画	【目標】前年度80%減量を目標にする	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等
	全処理委託量	2220m <sup>3</sup>
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	2220m <sup>3</sup>
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
購入者から発注に対して残りコンクリートの減量をお願いする。		
購入者へ残り生コンの再利用を促す。又、産廃処理費用の請求検討。		
※事務処理欄		